

平成23年度 決算状況

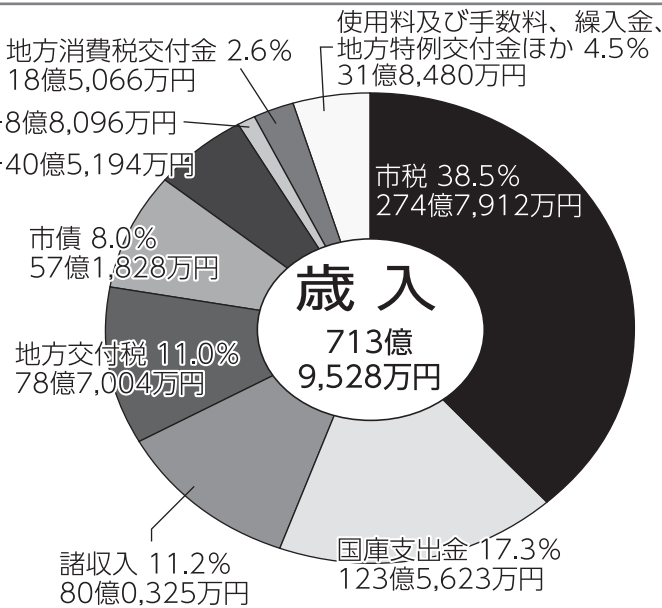
詳細 財政課 Ⅷ(32) 6212

平成23年度決算の結果は、財政健全化法に基づく四指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）のいずれも早期健全化基準を下回り、また、資金不足比率においても、すべての会計で経営健全化基準を下回りました。今後も更なる財政健全化に努めてまいります。

各会計の決算概要をお知らせします。

一般会計の決算状況

歳入
713億
9,528万円



一般会計は、私たちの生活に密着した福祉の増進や安全の確保、教育・文化の振興、ごみ処理や道路・公園の維持整備など、市政の基本となる会計です。

歳入（年度中の収入）の総額は713億9千528万円で、前年度に比べ13億6千827万円（1.9%）減少しました。歳出（年度中の支出）の総額は707億1千260万円で、前年度に比べ16億601万円（2.2%）減少し、差引額6億8千268万円の黒字になりました。

特別会計の決算状況

■国民健康保険事業

加入者がお金を出し合い、病気の時などに医療費を負担し合う制度です。平成23年度決算では、3億8千4万円の黒字となりました。

■沼ノ端鉄北土地区画整理事業

保留地の分譲を行っています。平成23年度決算の赤字分は、平成24年度からの繰上充用金を充てました。

■職員退職手当基金

市の各会計が毎年負担し合い、退職金を支給しています。定年や勤奨などによる退職者85人と普通退職者46人に総額22億8千118万円の退職金を支給しました。

■霊園事業

霊園の造成、分譲と管理を行っています。平成23年度は高丘霊園と高丘第二霊園で16区画の分譲を行いました。また高丘霊園の老朽化した階段の改修工事を行いました。

■介護保険事業

加入者の保険料と国や道、市の税金を財源として介護サービスを給付

企業会計の決算状況

■水道事業

市民の生活用水を供給しています。新設事業では見山町、大成町などへの配水管布設や、豊川小学校及び勇払中学校に緊急貯水槽の設置、幌内ポンプ場に表流水ポンプの増設等を行いました。また、改良事業では老朽化した配水管の布設替えや、錦多峰浄水場の耐震補強工事等を行いました。収益的収支は3億6千412万円

の黒字で、消費税と地方消費税を整理した純利益は2億9千230万円でした。

■下水道事業

快適で衛生的な生活環境を保つため、明野地区、錦岡鉄北地区等の汚水管を整備し、水洗化便所普及率は99.7%になりました。また、宮前・ときわ・柏木・明野・東開地区等の浸水対策として、雨水管を整備

特別会計決算一覧

会計名	23年度決算	差引
国民健康保険事業	歳入 180億0,413万円 歳出 176億2,409万円	3億8,004万円
沼ノ端鉄北土地区画整理事業	歳入 8億0,614万円 歳出 25億1,871万円	△17億1,257万円
職員退職手当基金	歳入 22億8,118万円 歳出 22億8,118万円	-
霊園事業	歳入 7,488万円 歳出 7,488万円	-
介護保険事業	歳入 97億1,229万円 歳出 96億7,739万円	3,490万円
後期高齢者医療	歳入 15億7,249万円 歳出 15億7,249万円	-
計	歳入 324億5,111万円 歳出 337億4,874万円	△12億9,763万円

しています。平成23年度の決算では、3千490万円を次年度へ繰り越しました。

■後期高齢者医療
75歳以上の方と、65～74歳で一定の障がいのある方の医療を国民みんなを支えあう健康保険制度であり、道内市町村が加入する北海道後期高齢者医療広域連合が運営主体となっています。平成23年度の決算は歳入歳出ともに15億7千249万円でした。